

## 5.7 土石流可能性マップ

### (1) 発生する可能性のある溪流の抽出

宝永噴火後の土砂流出に関する史料を検討した結果、主な土砂災害は降灰の厚さ 10cm 程度以上の範囲に集中することがわかった。したがって、降灰後の降雨による土砂流出や土石流が発生する溪流は、降灰可能性マップの結果で得られる降灰の厚さ 10cm 以上の範囲から抽出する。

発生する可能性のある溪流は、国土交通省の実施する土石流危険溪流調査における土石流氾濫範囲の検討方法（土石流危険溪流及び土石流危険区域調査要領（案））に基づいて、各都道府県が調査した土石流危険溪流、および準ずる溪流とした。それ以外にも土石流が発生すると考えられる 1 次谷を 1/25,000 の地形図から読みとり抽出した。

### (2) 土石流可能性マップ

氾濫範囲および溪流位置を全てあわせて土石流の可能性マップとした。作成した可能性マップを図 - 5.7.1 に示す。

---

「土石流危険溪流調査要領（案）」による土石流危険溪流の抽出方法

1/25,000 地形図上で一次谷を抽出

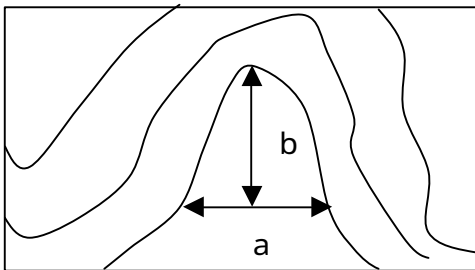


図 - 5.7.1 等高線から判断して谷地形となる地点

$a / b < 1$  であれば一次谷と定義する。

#### 土石流危険溪流

保全人家 5 戸以上、または人家 5 戸未満であっても官公署、学校、病院、駅、発電所等のある場所に流入する溪流

#### 土石流危険溪流

保全人家個数が 1 戸以上 5 戸未満の場所に流入する溪流

#### 土石流危険溪流に準ずる溪流

現在保全人家戸数 0 戸であるが、今後住宅等の新築の可能性があると考えられる区域に流入する溪流

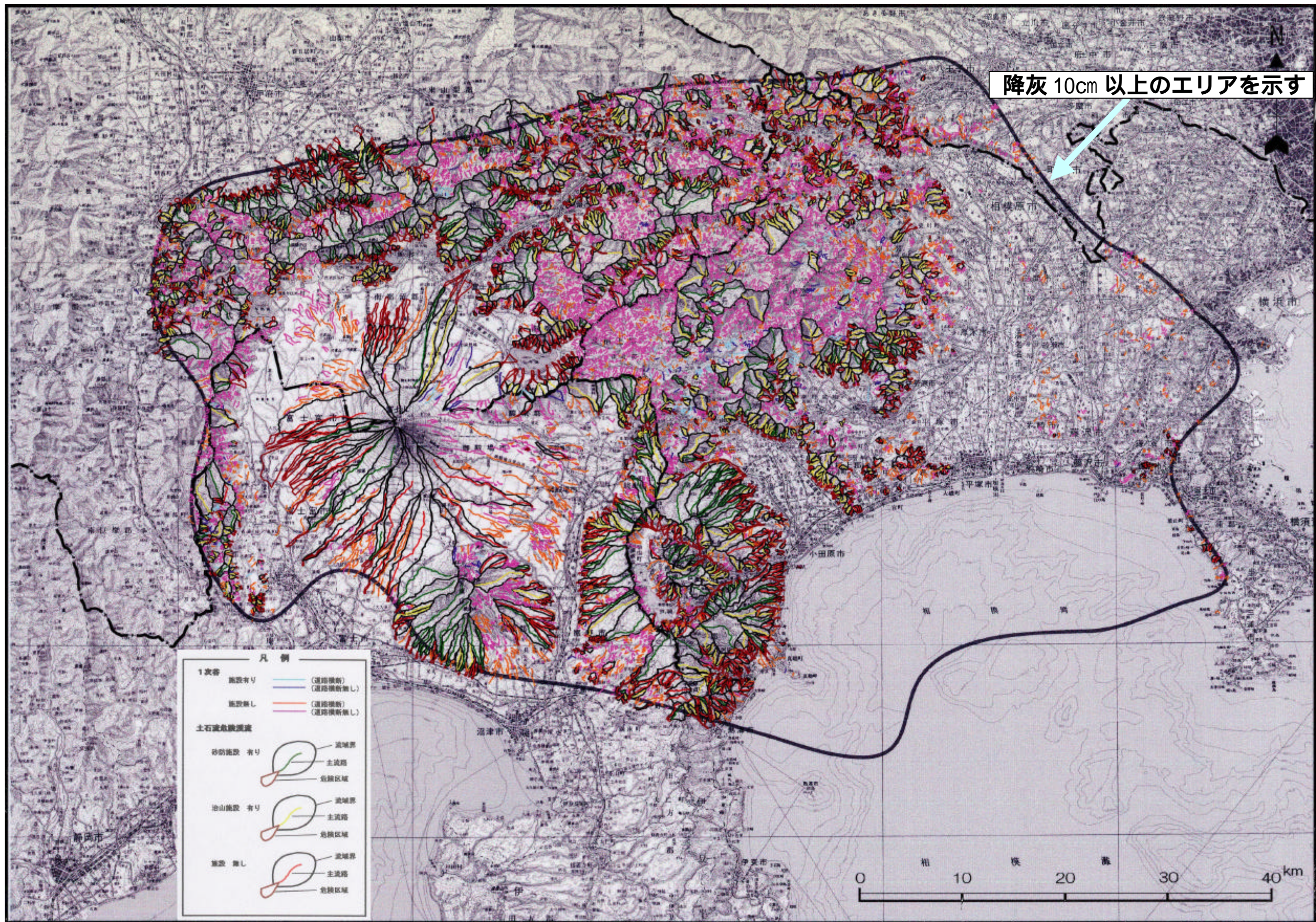


図 - 5.7.1 土石流可能性マップ

## 引用文献

建設省河川局砂防部砂防課 (1999): 土石流危険溪流及び土石流危険区域調査要領 (案) 平成 11 年 4 月.

池谷 浩 (1992): 砂防学講座 第 6 卷-1. 土砂災害対策 - 扇状地対策, 土石流対策 - (1), 山海堂, p.143-148